

大明教育 実践の評価

◆29年度末の実践の評価を踏まえ、今年度の課題を明らかにする。

◆小中連携及び学校・家庭・地域の連携・協働の場を探る。

<評価方法について>

◇A-よい B-ふつう C-改善が必要 の3段階で評価

◇評価者の職種によっては評価できない項目もありますので、その場合は空欄にしないで斜め線を記入すること。

◇「気づいたこと」には、率直なご意見を記述してください。特にC評価については改善方法等を具体的に書くこと。

評価項目	評価		
	A	B	C
1. 教育目標について			
① 学校教育目標・指導重点は適切だったか。「自ら考え 活動する 心豊かな子ども」 (〇あいさつのできる〇きまりが守れる〇すすんで学習できる〇落ちついて生活できる)	2 3	2	0
② 学校教育目標が学年学級経営や教科指導に具現化されているか。	2 2	3	0
③ 学校教育目標や経営方針が児童や父母に理解されるよう配慮されているか。	1 6	9	0

(考察)

- ・学校教育目標・指導重点は適切で、それらが学年学級経営や教科指導に具現化されていると考える教職員がほぼ全員である。
- ・学校教育目標や経営方針が児童・保護者に理解されるよう配慮されているという設問は、B評価が多い。学校教育目標や経営方針が理解されるような配慮に一工夫が必要である。

(改善点)

- ・2学期以降学校教育目標や指導重点が児童や保護者に理解されるように毎日の授業、全校集会、授業参観、各種行事、学校便り、学年通信等、ホームページで実行していく。

評価項目	評価		
	A	B	C
2. 経営・組織			
① 学校運営に関する連絡・調整はスムーズか。	2 2	2	0
② 職員会議は学校運営に適切に機能しているか。	2 3	1	0
③ 学年打ち合わせが十分できているか。	1 8	3	0
④ 研究主題は、学校課題に合った適切な内容であったか。	2 2	1	0

(意見) 職員室に相談しやすい雰囲気があり、困ったことをすぐに話すことができ、ほんとうにありがたいと毎日感じています。先生方が、明るく温かくいろいろ声をかけてくださり、多忙な毎日ではありますが、安心して勤務できる職場にとっても感謝しています。

(考察)

- ・学校運営に関しての連絡・調整や職員会議については、おおむねスムーズで適切に機能していると考えられる教職員が多い。
- ・研究主題は本校の課題に適切なものであると考えている教職員がほとんどである。
- ・学年の打ち合わせについては、忙しい中で努力して行っていることが分かる。

(改善点) 学年の打ち合わせが綿密にできるように他の会議の運営の時間短縮を図る。事前打ち合わせを行い、討議することの焦点化を図る。資料を1週間前に配付し目を通してもらう事で、時間短縮をはかる。終礼等の時間短縮については、読んで伝わることはパソコン上の文書提案で行う。

評価項目	評価		
	A	B	C
3. 教育課程 (1) 全般			
① 教育課程に本校の特色は生かされているか。	2 2	3	0
(2) 各教科・総合的な学習の時間			
② 教科指導は、教材研究・事前の準備等を行い、わかる・楽しい授業に心がけたか。	2 0	3	0
③ 創意工夫のある授業実践を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育てることができたか。	8	1 5	0
④ 各教科の授業時数は確保できているか。	2 0	2	0
(3) 道徳			
⑤ 教科や他領域との関連に考慮がはらわれているか。	9	1 0	0
⑥ 道徳的实践・道徳性などが高められていると思うか。	7	1 2	0
(4) 特別活動(学級活動・児童会活動)			
⑦ 学級活動は、自主的・自発的に運営されたか	1 2	9	0
⑧ 児童会活動は、自主的・自発的に運営されたか。	1 7	5	0
(5) 学校行事			
⑨ 学校行事は適切に計画的に実施されているか。	2 3	2	0
⑩ 学校行事は、学校生活に活力を与えるよう計画運営されているか。	2 2	3	0

(考察)

- ・学校行事は適切に計画・運営されていると考えられる教職員は多い。また、教育課程に本校の特色が生かされており、おおむね授業時数も確保できていると考えられる。
- ・教科指導については、事前の教材研究・事前準備はよいが児童が自ら学ぶ意欲や態度を育てているかについてはB評価が多い。教材研究に費やす時間が少ない現状がある。
- ・道徳については、他の教科や領域との関連、児童の道徳性が高められているかと設問にはB評価が多い。
- ・特別活動については、昨年に比べA評価がB評価を上回り、改善されていると答える教員が多かった。

(改善点)

- ・特別の教科 道徳は、「考え議論する道徳」に向けた授業づくりを進めていく。また、道徳と他の教科・領域の関連を意識して、計画実行する。
- ・自ら学ぶ意欲と態度を育てることができたかについては、学校全体で話し合い、創意工夫のある授業が行える

ようにする。

- ・自ら学ぶ意欲を育むため、校内研究で取り組んでいる「ファシリテーション」の授業を行っていく。
- ・特別活動については、これからも引き続き児童が自発的に運営できる場を増やしていく。

評価項目	評価		
	A	B	C
4. 学級経営・生徒指導			
① 児童との心のふれあいを深め、豊かな人間関係を築く学級づくりに取り組めたか。	16	5	0
② 職員が共通理解をもち生徒指導を推進しているか。	20	5	0
③ 支援委員会を中心とした支援は適切に行われたか。	19	5	0

(意見)・湯泉先生がいちご学級の児童やその他の支援を要する児童についていつも適切なアドバイスを下さり、ありがたく思っています。チームで支援をしている雰囲気があり助けられています。

(考察)

- ・どの項目もA評価がB評価を上回っている。生徒指導上の問題については、共通理解が図れるように情報交換を常に行っている。また、支援が必要な児童に対してもコーディネーターを中心に情報交換を密にしている結果が表れている。

(改善策)・授業時間内での教科指導と生徒指導の両面からの授業づくりを行っていく。

- ・気になる子への対応は担任だけでなく、学校全体による「チーム」で対応していく必要がある。そのための情報交換の時間は必要であるので、その時間を捻出し全職員が主体的に関われる体制をつくっていく。

評価項目	評価		
	A	B	C
5. 家庭・地域社会との連携			
① 授業参観・懇談会は適切だったか。(回数・内容・出席率)	20	4	0
② P T A活動は目標達成のため計画的に展開されているか。	21	4	0
③ 児童の登下校時において安全が確保されているか。	20	5	0
④ 学校応援団を有効に活用できたか。	18	4	0

(意見)

- ・学校開放日の日程であるが①午前中のみ、または②3～6校時のみにしてほしい。(できれば前者。)学級等でトラブル等や突発的な出来事が起こった場合の対応に難しさがある。

(考察)

- ・授業参観・懇談会は適切であったと答える教職員が多い。また、P T A活動は計画的に展開されていると考える教職員が多い。
- ・児童の登下校については、昨年同時期に比べるとよいと答える教職員が多い。やや改善されたと考えられる。
- ・学校応援団の活用については、ほぼ全員がよいと答えている。

(改善点)

- ・今年度は、ふれあい道徳を学校開放日と同日に行った。二つの行事を同日に行うことでその目的の兼ね合いで上記の意見のような突発的なケースに対応しにくくなってしまう。行事については、再度その会の目的・在り方を共通理解したうえで、どのようにするか話し合いを行う。
- ・集団登校指導・下校指導をさらに徹底していく。
- ・学校応援団については、呼びかけを多く行い、協力者を増やしていく。

評価項目	評価		
	A	B	C
6. その他			
① 子どもたちは、あいさつができていたか。	6	17	0
② 給食中のすごし方やマナーに問題はないか。	3	19	0
③ 清掃指導にしっかり取り組めたか。	13	11	0
④ 読書意欲を高めるような指導ができていたか。	12	11	0
⑤ 保健指導がしっかりできていたか。	15	8	0

(意見)

- ・あいさつをしても返さない人がいる。進んであいさつをすることを目指したいが、苦手な人はまず返すことができるようになるとよい。
- ・朝、あいさつをしても（無視して）前を通り過ぎる児童が多いです。しつこくあいさつを続けるしかないでしょうか。授業参観等の時、子どもと同じ状態（あいさつができない）方（保護者）も少なからずいらっしゃいます。
- ・あいさつについて。あいさつをどのレベルでできているとすべきか、その共通理解が必要。
- ・昨年より少しはよくなりましたが、給食マナーが悪くて困ります。

(考察)

- ・あいさつは、昨年度とほぼ同じで、「ふつう」が多い。あいさつを自分から行える子が増えることが望ましい。
- ・給食中の過ごし方やマナーは、ふつうと回答した教職員が多い。給食時のマナーがあまりよくない傾向にあることが分かる。
- ・清掃指導・読書指導についてはよいとふつうに分かれた。学年・学級でちがいがあることが分かる。
- ・保健指導については「よい」の評価がふつうの評価を上回った。養護教諭を中心に各学級で保健指導を丁寧に行っていることがうかがわれる。

(改善点)

- ・自分から進んで気持ちのよいあいさつができるように全校体制で指導を工夫していく。
- ・給食主任を中心に食事のマナーを含む給食指導を継続的に取り組めるよう計画・実行していく。
- ・清掃について子どものやる気を促すような働きかけを行う。